

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察運営費	1,233,096 (1,227,419)  国 1,231 使 201,407 財 21,446 諸 41,197 ⊖ 967,815	1 犯罪被害者への支援強化事業 9,103  (1) 犯罪被害者等への支援 2,112  性犯罪被害者の性感染症検査等にかかる再診料や検査費用及び身体犯罪被害者の初診料や診断書経費等を公費負担するなどし、被害者の負担軽減を図る。  ④ (2) 犯罪被害者支援の拡充 6,991  犯罪被害者への支援の充実や、児童虐待等の被害児童からの事情聴取時における負担軽減施策を実施し、捜査段階での被害者の精神的、経済的負担の軽減を図る。  2 社会全体で犯罪被害者等を支える取組み推進事業 321  犯罪被害者遺族等を講師とする講演を開催し、社会全体で犯罪被害者等を支える気運の醸成、規範意識の向上を図るとともに、県民等の犯罪被害者支援に関する社会活動への参加促進を図る。  ⑤ 3 第44回全日本愛瓢会総会・展示会対策経費 32,450  平成31年度に開催される第44回全日本愛瓢会総会・展示会において、会場や沿道等における警備を行う。
装備費	945,244 (557,107)  国 158,951 起 39,900 ⊖ 746,393	1 警ら用自動車等の更新整備 68,639  警察活動の基盤となる警察車両の計画的な更新整備を図るため、警ら用自動車（白黒パトカー）や音楽隊用大型車両等の更新整備を行う。  ⑥ 2 第44回全日本愛瓢会総会・展示会対策経費 7,130  平成31年度に開催される第44回全日本愛瓢会総会・展示会において、会場や沿道等における警備を行う。  ⑦ 3 警察無線機更新整備経費 211,823  警察無線機システムの更新整備に伴い、無線機端末の更新整備を行う。

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察施設費	1,624,940 (866,363)  国 531  財 42,996  繰 2,269  起 1,543,400  〇 35,744	1 草津警察署移転新築整備 99,772  老朽・狭隘が著しく、耐震基準を満たしていない草津警察署の移転新築整備に伴い、移転先用地の造成を行い、新庁舎の建築工事に着工する。  2 運転免許センター新築整備 1,291,434  老朽・狭隘が著しく、耐震基準を満たしていない運転免許センターの新築整備に伴い、本館の新築工事等を行う。  3 交番・駐在所の新築整備 61,230  地域防災の拠点となる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しい2施設を新築整備する。
刑事警察費	525,661 (567,819)  国 21,423  使 42,979  〇 461,259	① ② 1 子ども安全対策事業 7,080  全国的に通学路等で子どもが犠牲となる殺傷事件等が発生している状況の中、通学路等における不審者情報提供システムの充実化や子ども見守り活動の支援等を行い、総合的な子どもの安全対策を図る。  2 県民を特殊詐欺から守る安全安心コール事業 3,939  悪質・巧妙化する特殊詐欺から県民を守るため、ICT（情報通信技術）を活用したオートコール業務委託や集中架電システムにより、効果的かつ効率的な対策を推進する。

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>3 安全・安心なサイバー空間構築推進事業 1,781</p> <p>サイバー空間の浄化等を目的としたサイバーボランティアの活動を積極的に支援し、社会全体でサイバー空間の脅威に立ち向かう気運を醸成するとともに、サイバー犯罪への捜査力を強化して、安全・安心なサイバー空間を構築する。</p> <p>4 犯罪の起きにくい社会づくり推進事業 560</p> <p>少年の非行を防止し、犯罪の起きにくい社会を実現するため、小中学生及び保護者を対象とした非行防止学習活動を実施し、非行少年を生まない社会づくりを推進する。</p> <p>5 少年の立ち直り（社会参加・貢献活動）支援事業 614</p> <p>少年の健全育成に資する活動を地域ぐるみで活性化し、非行少年を生まない社会づくりを推進するとともに、少年の立ち直り支援等を目的とした社会参加・貢献活動型の取組みを推進する。</p>
交通指導取締費	<p>1,761,011 (2,218,740)</p> <p>国 249,557</p> <p>使 350,387</p> <p>諸 91,286</p> <p>起 277,700</p> <p>○ 792,081</p>	<p>①重1 高齢運転者安全・安心事業 1,588</p> <p>多発する高齢ドライバーの交通事故防止対策として、「運転者疑似体験型集合教育装置」を活用した出前方式の講習会を行うことにより、高齢運転者による交通事故防止を図る。</p> <p>2 高齢者交通安全対策事業 2,011</p> <p>高齢者の交通事故発生が予測される地域を「思いやりゾーン」として設定し、総合的な交通事故防止対策を展開する。</p> <p>3 高齢者対象運転免許自主返納促進事業 292</p> <p>高齢者が運転免許証を返納しやすい社会環境を構築し、自主返納の気運醸成を図る。</p> <p>4 児童・生徒を交通事故から守る「おうみ通学路交通アドバイザー」事業 301</p> <p>おうみ通学路交通アドバイザー制度を継続し、通学路における一層の交通安全向上を図り、安全で安心な通学路環境の持続を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>5 補助交通安全施設整備事業 477,807</p> <p>(1) 交通管制センターの整備 127,190</p> <p>交通の安全と円滑化を推進するため、集中制御機や情報収集装置の更新等を行う。</p> <p>(2) 交通信号機の整備 141,411</p> <p>交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、歩車分離化や視覚障害者用付加装置の新設等の信号機改良整備を行う。</p> <p>(3) 円滑化対策事業 34,822</p> <p>慢性的な交通渋滞の解消を図るため、交通信号機の改良やオーバーハング柱等の更新整備を行う。</p> <p>(4) ゾーン・通学路対策事業 118,500</p> <p>最高速度を時速30kmに規制する区域を「ゾーン30」地区と設定し、歩行者の通行を最優先とした道路交通安全を確保するため、道路標識や道路標示の整備等を行う。</p> <p>6 単独交通安全施設整備事業 154,551</p> <p>(1) 交通信号機の整備 103,614</p> <p>信号機の移設や信号灯器の更新整備等を行う。</p> <p>(2) 道路標識・標示の整備 26,190</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び老朽施設の更新を行う。</p>